

# 榛松中だより

～笑顔があふれる 学びと感動のある榛松中学校～

令和6年5月号

学校教育目標

知性と創造性に富む生徒  
豊かな心と思いやりのある生徒  
健康でたくましい生徒

川口市立<sup>はしまつ</sup>榛松中学校

〒334-0062

埼玉県川口市榛松2丁目10番1号  
電話 (048) 284-2414

## 「学び」に向かう

校長 飯塚 稔

今年が開花が遅かった桜の季節もあっという間に過ぎ去り、気が付けば木々の若葉とツツジの花に彩られた新緑のまぶしい季節となりました。新しい年度がスタートして、まもなく一ヶ月が過ぎようとしています。各学年とも、新しいクラス、新しい仲間、新しい先生に少しずつ慣れてきたところだと思えます。どの生徒も、笑顔で挨拶をして登校する姿や真剣に授業に取り組む姿、一生懸命に部活動に参加する姿は、微笑ましくもあり、頼もしくもあります。

さて、この一ヶ月を振り返ると、4月10日(水)に、1年生が校外学習で「神川げんきプラザ」に行きました。現地のファシリテーターの支援のもと、様々な体験プログラムを実行する中で、クラスメイトとの交流が自然と多く生まれました。1年生にとっては、始まったばかりで慣れない中学校生活ですが、この校外学習を通して、子供たちの人間関係作りが大きく進んだのではないかと思います。お互いに声を掛けあい、励ましあう姿勢で、これからも大きく成長してほしいと願っています。他にも、3年生の「全国学力・学習状況調査」や委員会の「認証式」、部活動の「本入部」などがありました。このようなそれぞれの場面で、各生徒がやるべきことを再確認し、その都度、意欲を高めることは、学校生活に張り潤いを与えるためにも、たいへん有意義です。今後も、このような機会を大事にしていきたいと思えます。

ところで、学校生活の中心である「授業」も、本格的にスタートしています。生徒たちは、それぞれの教科等の授業を通して基礎学力を伸ばし、物事に対する様々な見方や考え方を身に付けていくことが求められています。そのために必要なことは何か……。1つ目は、『学校での授業を通して、「解けた」「わかった」「なるほど」「他はどうだろう」といった体験を、ひとつでも多く重ねる』こと。2つ目は、『得意・不得意にかかわらず、コツコツと努力を重ね、時間をかけて力をつけていく』ことであると私は考えています。

「できなかったことができるようになる」ことの喜びは、勉強、スポーツ、どんなことでも共通だと思います。5月には中間テストも控えています。どの生徒も学習にしっかりと取り組み、ひとつでも多くの「できた」を体験できる機会にしてもらいたいです。

最後に、ゴールデンウィークとなるこの時期は、4月の緊張感から解放され、溜まった疲れが出やすい時です。連休でしっかりと心身のリフレッシュをするとともに、生活リズムを整えることが大切です。早寝、早起き、朝食をとる等、基本的な生活習慣の徹底をお願いします。また、登校しぶりなどが出始めるのも、ゴールデンウィーク後が多いようです。保護者の皆様には是非、家庭内での会話を増やし、子どもの発する小さなサインに気づいていただきたいと思えます。連休中、生徒たちの健康と安全がしっかりと守られますよう、保護者そして地域の皆様の温かい見守りをお願いいたします。